

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	382 道路維持補修事業									
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち					担当部	都市整備部		
	基本計画【施策】	5－④生活の要は道路					担当課	土木管理課			
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	02	目	道路維持費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		道路施設管理運営費			細事業名 (事業2)		道路維持補修事業		
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営			対象		全市民			
事業期間	開始年度	—		終了予定年度		—					
事業の目的	道路交通の安全性及び利便性を確保する。										
事業の概要	市道の安全性及び利便性を確保するための維持管理。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績		境界立会い、測量。 修繕工事。（道路・道路反射鏡）					
課 題		工事を行うに当たり、緊急性・公共性の見極めが重要となる。 今後、橋梁等の長寿命化に多くの工事費が掛かる					
コスト			平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	事業費（A）	当初予算額	80,679 千円	108,597 千円	162,880 千円		
		決算（見込）額	79,096 千円	129,260 千円	千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	18,251 千円	18,186 千円	65,028 千円		
		一般財源	60,845 千円	111,074 千円	97,852 千円		
	人件費（B）		4,941 千円	4,940 千円	9,161 千円		
	人工（職員数の内訳）		0.64 人	0.64 人	1.19 人		
トータルコスト（A）＋（B）		84,037 千円	134,200 千円	172,041 千円			
活動指標	内容		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	修繕工事等の実施件数		件	目標	70	75	75
				実績	91	62	
					達成度	130.0%	82.7%

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 道路交通の安全性及び、利便性を確保するため、継続して実施する。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	緊急性、公共性を考慮し判断していく。 橋梁等の長寿命化に取り組んでいく。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	385 大森新道線道路改良事業									
総合計画	めざまちの姿	5	調和のとれた便利なまち					担当部	都市整備部		
	基本計画【施策】	5－④生活の要は道路					担当課	土木建設課			
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	03	目	道路改良費
	予算事業名		基本事業 (事業1)		道路改良費			細事業名 (事業2)		大森新道線道路改良事業	
実施主体	市		実施方法		市が直接実施・運営		対象		全市民		
事業期間	開始年度		平成19年度		終了予定年度		平成28年度				
事業の目的	通行に危険を伴う線形の改良と歩道を整備することにより、利用者の安全と利便性の向上を図る。										
事業の概要	自動車及び歩行者の増加に伴い、歩道の設置と交差点の改良事業を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			工事 L=217m（H28へ繰越）					
課 題								
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	19,116 千円		48,650 千円		0 千円	
		決算（見込）額	27,990 千円		557 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	23,745 千円		0 千円		0 千円	
		一般財源	4,245 千円		557 千円		0 千円	
	人件費（B）		5,687 千円		4,360 千円		5,774 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.76 人		0.57 人		0.76 人	
	トータルコスト（A）＋（B）		33,677 千円		4,917 千円		5,774 千円	
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	計画に対する整備率		%	目標	72	100	100	
				実績	70	70		
					達成度	97.2%	70.0%	

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 通勤通学等の利用者の安全を確保するための事業であり、総合的に判断しても適切なものである。事業進捗は地元自治会の要望により関係地権者と再交渉を重ねたが合意に至らず、工事発注準備に遅れが生じ、年度内完成ができなくなったものでありやむを得ないものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続
今後の取組内容（課題に対する改善等）	社会資本整備総合交付金事業でありH28の完了を目指す。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	387 新所原笠子線道路改良事業									
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち					担当部	都市整備部		
	基本計画【施策】	5－④生活の要は道路					担当課	土木建設課			
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	03	目	道路改良費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		道路改良費				細事業名 (事業2)		新所原笠子線道路改良事業	
実施主体	市	実施方法		市が直接実施・運営			対象		全市民		
事業期間	開始年度	平成27年度		終了予定年度		平成34年度					
事業の目的	本路線を整備することにより、増加する交通量に対し歩行者の安全を図る。										
事業の概要	歩行者の安全と利便性の向上のため、歩道の整備を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			道路予備設計・路線測量 1式					
課 題			事業予算及び事業用地の確保					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	0 千円		5,600 千円		5,600 千円	
		決算（見込）額	0 千円		5,352 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円	
		一般財源	0 千円		5,352 千円		5,600 千円	
	人件費（B）		0 千円		1,938 千円		7,221 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.00 人		0.25 人		0.95 人	
	トータルコスト（A）＋（B）		0 千円		7,290 千円		12,821 千円	
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	計画に対する整備率		%	目標	0	1	2	
				実績	0	1		
					達成度		100.0%	

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 歩行者の安全確保と利便性の向上を図るための事業であり、総合的に判断しても適切なものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	新所原駅南口の整備に伴い、アクセス道路の歩道設置及び道路改良を社会資本整備総合交付金事業により実施する。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

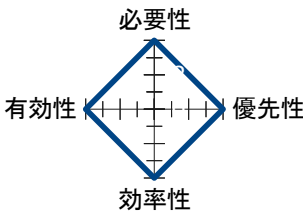
1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	390 小名川1 2号線道路改良事業									
総合計画	めざすまちの姿		5	調和のとれた便利なまち					担当部	都市整備部	
	基本計画【施策】		5－④生活の要は道路					担当課	土木建設課		
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	03	目	道路改良費
	予算事業名		基本事業 (事業1)		道路改良費			細事業名 (事業2)		小名川1 2号線道路改良事業	
実施主体	市		実施方法		市が直接実施・運営		対象		全市民		
事業期間	開始年度		平成23年度		終了予定年度		平成27年度				
事業の目的	本路線を整備することにより、鷺津駅周辺の幹線道路との連続性が確保され、病院利用者を含む歩行者の安全と利便性の向上を図る。										
事業の概要	歩行者の安全と利便性の向上のため、歩道の整備を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績		(H26繰越分) 工事 L=106m (H27現年分) 工事 L=167m 物件補償 N=2件（工作物）				
課 題						
コスト			平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	25,365 千円	27,856 千円	0 千円	
		決算（見込）額	23,493 千円	39,172 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	19,044 千円	18,111 千円	0 千円	
		一般財源	4,449 千円	21,061 千円	0 千円	
	人件費（B）		6,751 千円	8,235 千円	0 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.90 人	1.08 人	0.00 人	
	トータルコスト（A）+（B）		30,244 千円	47,407 千円	0 千円	
活動指標	内容		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	計画に対する整備率		%	50	100	0
				27	100	
			達成度		54.0%	100.0%

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 通勤通学、病院等の利用者の安全を確保するための事業であり、総合的に判断しても適切なものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	事業完了
	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	H27で事業完了

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	391古見新居線道路改良事業									
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち					担当部	都市整備部		
	基本計画【施策】	5－④生活の要は道路					担当課	土木建設課			
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	03	目	道路改良費
	予算事業名		基本事業 (事業1)		道路改良費			細事業名 (事業2)		古見新居線道路改良事業	
実施主体	市	実施方法		市が直接実施・運営			対象	全市民			
事業期間	開始年度	平成25年度		終了予定年度		平成27年度					
事業の目的	交通量が増加し危険な状態で円滑な交通の妨げになっている古見新居線と三ツ谷谷上線の交差点の改良を行い、安全かつ円滑な交通を確保する。										
事業の概要	通勤等の利用者の円滑な交通及び安全を確保するための交差点改良を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			工事 L=249m					
課 題			0					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	0 千円		12,340 千円		0 千円	
		決算（見込）額	4,832 千円		12,144 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円	
		一般財源	4,832 千円		12,144 千円		0 千円	
	人件費（B）		4,623 千円		6,782 千円		0 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.62 人		0.89 人		0.00 人	
	トータルコスト（A）+（B）		9,455 千円		18,926 千円		0 千円	
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	計画に対する整備率		%	目標	0	100	0	
				実績	0	100		
					達成度			100.0%

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 通勤等の利用者の円滑な交通及び安全を確保するための事業であり、総合的に判断しても適切なものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	事業完了
今後の取組内容 (課題に対する改善等)	H27で事業完了

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

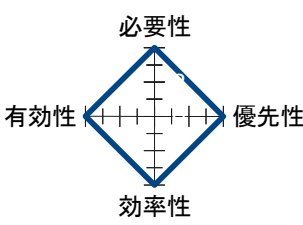
1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	396 新所原駅嵩山線道路改良事業									
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち					担当部	都市整備部		
	基本計画【施策】	5－④生活の要は道路					担当課	土木建設課			
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	03	目	道路改良費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		道路改良費				細事業名 (事業2)		新所原駅嵩山線道路改良事業	
実施主体	市	実施方法		市が直接実施・運営			対象		全市民		
事業期間	開始年度	平成26年度		終了予定年度		平成29年度					
事業の目的	本路線を整備することにより、歩道の連続性を構築することにより、利用者の安全と利便性の向上を図る。										
事業の概要	自動車及び歩行者の増加に伴い、歩道の設置と交差点の改良事業を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績		物件補償調査 N=2件					
課 題		道路用地の買収困難者への対応 事業予算の確保					
コスト			平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	事業費（A）	当初予算額	30,627 千円	1,714 千円	0 千円		
		決算（見込）額	23,871 千円	1,378 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	6,705 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	17,166 千円	1,378 千円	0 千円		
	人件費（B）		3,027 千円	969 千円	0 千円		
	人工（職員数の内訳）		0.40 人	0.13 人	0.00 人		
	トータルコスト（A）+（B）		26,898 千円	2,347 千円	0 千円		
活動指標	内容		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	計画に対する整備率		%	目標	35	26	0
				実績	24	26	
					達成度	68.6%	100.0%

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 本路線を整備することにより、歩道の連続性を構築し、利用者の安全と利便性の向上を図るものであり、総合的に判断しても適切なものである。事業進捗は地権者との合意ができず用地取得が遅れているものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	社会資本整備総合交付金事業であり予定通りH29の完了を目指す。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	399 日の岡入出知波田線道路改良事業（弁財橋）									
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち					担当部	都市整備部		
	基本計画【施策】	5－④生活の要は道路					担当課	土木建設課			
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	03	目	道路改良費
	予算事業名	基本事業 （事業1）	道路改良費				細事業名 （事業2）	日の岡入出知波田線道路改良事業（弁財橋）			
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営				対象	全市民			
事業期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	平成33年度							
事業の目的	緊急輸送路になっている橋梁を耐震補強することにより、災害時の緊急輸送路の確保を行うとともに、橋梁の補修を行い長寿命化を図る。										
事業の概要	災害時の緊急輸送路の確保と橋梁長寿命化を図るため耐震補強工事を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			橋梁予備設計（工法検討）							
課 題			事業予算の確保							
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	事業費（A）	当初予算額	0 千円		11,000 千円		0 千円			
		決算（見込）額	4,755 千円		7,125 千円		千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円			
		一般財源	4,755 千円		7,125 千円		0 千円			
	人件費（B）		1,962 千円		1,938 千円		0 千円			
	人工（職員数の内訳）		0.26 人		0.25 人		0.00 人			
	トータルコスト（A）+（B）		6,717 千円		9,063 千円		0 千円			
活動指標	内容		単位		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	計画に対する整備率		%	目標	3		7		0	
				実績	3		7			
			達成度		100.0%		100.0%			

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 災害時の緊急輸送路の確保と橋梁の長寿命化を図るものであり、総合的に判断しても適切なものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容（課題に対する改善等）	防災・安全事業のため、早期の整備方針の決定及び事業の実施が必要である。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	676 都市計画道路松山茶屋松線整備事業 (※都市計画関係事務費に含まれる。)									
総合計画	めざまちの姿	5	調和のとれた便利なまち						担当部	都市整備部	
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路						担当課	都市計画課		
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	04	項	都市計画費	01	目	都市計画総務費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		都市計画総務関係経費				細事業名 (事業2)		都市計画関係事務費	
実施主体	市	実施方法		市が直接実施・運営			対象		全市民		
事業期間	開始年度	—		終了予定年度		—					
事業の目的	浜名湖西岸土地区画整理事業のアクセス道路となり、かつ湖西市道路ネットワークの南北軸を形成する当該道路を整備し、湖西市の発展に寄与する。										
事業の概要	(都) 松山茶屋松線について、整備未定の浜名バイパス浜名ICに結ぶルートから既存の大倉戸ICに結ぶルートに変更し、市道古見新居線（新居鉄工団地入口付近）までの延長L=2,300m、幅員W=16mの道路整備を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績		松山茶屋松線測量業務委託 一式					
課 題							
コスト			平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	事業費（A）	当初予算額	29,387 千円	36,545 千円	10,273 千円		
		決算（見込）額	27,920 千円	25,398 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	27,920 千円	25,398 千円	10,273 千円		
	人件費（B）		9,965 千円	10,097 千円	10,097 千円		
	人工（職員数の内訳）		1.32 人	1.35 人	1.35 人		
	トータルコスト（A）＋（B）		37,885 千円	35,495 千円	20,370 千円		
活動指標	内容		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	松山茶屋松線の整備計画に対する整備率（累計）		%	目標	0	3	5
				実績	0	3	
					達成度		100.0%

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 都市計画の方針に従い、計画的にまちづくりを行うためには必要な業務である。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	都市計画の変更に係る地元の理解を得るため、丁寧な地元説明を行うとともに、地元配慮した設計を行う。